





生きるとはダンスだ!

Ver.5.6 2022/1/20 いまダンフィルムパートナーズ

企画意図



日本に約15万人いるパーキンソン病患者。難病に指定され、生涯に渡っ て向き合わねばならない病気です。近年は30代~40代の働き盛りの若 年性パーキンソン病の方も増えてきています。患者さん当事者は、パー キンソン病と診断されるまでに何年にもわたり、病院を転々とする人も おり、病名が明らかになった後も、仕事や家族との関わり方に悩んだり、 苦しんだりしている方が多く存在します。しかしながら、完治がしない と言えども、薬で症状をコントロールし、定期的なリハビリテーション を行うことで、日常生活を支障なく暮らしていくことが可能なのです。 患者さん当事者が人生に悲観することなく、そして孤立することなく、 笑顔で前向きに自分や家族、職場と向き合っていくために、どのような 思考や発想、習慣を持つことが大切になるのか? 激動の現代社会にお いて、病気が及ぼす影響をマイナスとしてだけ捉えるのではなく、どの

ようにしたらプラスに変えていくことができるか。 病気のみならず、変化の激しい現代社会を乗り越えていくためのきっかけを、パーキンソン病の当事者を 取り上げたドラマとドキュメンタリーの2本立てを 制作することで、社会に届けていきます。



一自分らしさってなんだろう? 一



作品詳細



パーキンソン病の中年男性がダンスを通じて初めて出会った本当の自分

終身雇用の概念が薄れ、既存の社会常識が通用しなくなっている現代、私たちは自分の価値観を大切にし、アイデンティティを発見していくことが、自分自身を受容し、家族や職場で生きがいややりがいを生み出すことができると考えます。病気と向き合うことは、身近に囲まれている価値を大切にできることを伝えていきます。

- ◆撮影予定:2022年6月(予定)◆公開予定:2023年上半期(予定)
- ◆メインロケ地:東京都内近郊
- ◆アウトプット:劇場公開、海外映画祭、企業研修、自主上映会
- ◆制作規模:4,500万円(予定) ◆出演者: (調整中)
- ◆プロデューサー: 松野 幹孝, 古新 舜, 野村 展代,小川 順也
- ◆監督・脚本・原作:古新舜
- ◆撮影監督:古屋幸一(『ミスター・ロン』、『ポルトの恋人たち』)
- ◆主題歌:樋口了一(『1/6の夢旅人2002』、『手紙~親愛なる子供たちへ~』)
- ◆パーキンソン病ダンス監修:マニシア ◆ダンス監修:相沢香
- ◆制作会社:コスモボックス 株式会社
- ◆配給会社: (調整中)
- ◆製作:いまダンフィルムパートナーズ (PD就労支援プロジェクト実行委員会、コスモボックス株式会社、 株式会社スパイスクッキー)

映画のコンセプト



一自分を受容していくことの大切さー

映画の題材はパーキンソン病を取り上げていますが、患者さん当事者だけが状況に向き合うのではなく、みんなが一人ひとり主体的に自分ごととして考えていく発想が必要だと考えます。

成長社会においては、効率性・画一性・正確性が求めれてきたがゆえに、自分自身の存在意義を見失って久しい時代が続きました。

コロナ禍もあり、社会の当たり前が見つめ直され、多様性のあり方が 広がっている近年、ありのままの自分を受容していく姿勢が大切に なってくるのだと思います。

本作でも病気を通じて、自分らしさを主人公が取り戻していきながら、自分の体はもとより、家族や職場の人間関係を大切にしていく変容を描き、自分ひとりで頑張るのではなく、他者との関係性を構築させながら、感謝や愛が自然と生まれていく現代社会に求められている人のあり方を描いていきます。

映画のストーリー



【ドラマパート・シノプシス】

功一は仕事一筋人間で生きてきたが、家庭を顧みず、妻・恵とはすれ違いが続き、娘・鈴涼とも仲が悪かった。ある日、若年性パーキンソン病だと診断されるも、それを受け入れられず、一人孤独を抱えてしまう。職場でも仲間が離れていく中で、恵からパーキンソン病のコミュニティ「PD SMILE」を教えてもらい通い始める。そこで友人が出来、自己開示をするようになり、人とのふれあいの大切さと食生活の意識変化を行なっていき、不仲だった娘ともダンスを通じて、お互いの関係が改善されていく。







【ドキュメンタリーパート・シノプシス】

日本に10万人以上いるパーキンソン病の患者。若いと20代30代でも発症し、 運動機能に制限が生じるが、薬との併用で病気の進行と遅らせることができ、社会 生活を良好に行うことができる。当社の方の日常を追いかけながら、日々の奮闘ぶ りと病気との付き合い方、社会参画への意識を追いかけていく。

ドラマ編ストーリー



<登場人物の相関関係>

馬場家

恵(40) 功一の妻

鈴涼(14) 功一の娘

献身

横柄

嫌悪

馬場功一(44)

心配 主人公

信頼

不動産会社勤務 支配

パーキンソン病

不動産会社アビーマックス

ライバル

水上(52) 功一の上司 総務部部長

根元(44) 功一と同期

営業部部長

佐々木(27) 功一の部下 若手女子計員

山口(25) 功一の部下

新人

パーキンソン病コミュニティ

有川(40) 脳梗塞で 左半身付随

快斗(6) 有川の息子 竹とんぼ好き

PD SMILE

大川(33) **PD SMILE** 主宰者

澤田(49) PD 当事者

内海(75) PD 当事者

新海(37) PD当事者 妊娠5ヶ月



安斎(56) 医師 功一にパー キンソン病と

伝える

五十嵐(34)

功一の部下

総務部係長



万田(28) ダンススクール 講師

古新舜(こにい しゅん)

コスモボックス株式会社代表取締役 デジタルハリウッド大学・非常勤講師 北陸先端科学技術大学院大学、博士後期課程



「Give Life to Your Story! - 物語を動かそう! - 」をテーマに、映画と教育の融合 を通じて、大人と子どもの自己受容感を共に育んでいく共育活動を行なってい

初の長編映画「ノー・ヴォイス」は、捨てられる命ゼロを目指してをテーマに、 日本の殺処分問題の現状と犬猫の命の大切さを描き、現在も各地で上映会が行 なわれ、**2020**年には**普連土学園中学校の「国語」の入試問題**に採用される。 また、クリエイティブと共に、経営・ICTの活動面でも評価を受け、一般社団法 人テレコムサービス協会主催の「第3回ビジネスモデル発見&発表会・全国大 会しにて「**中小企業庁長官賞**」を受賞する。

最新作となる**長編映画「あまのがわ**」は、不登校の女子高生が分身ロボット "OriHime"と共に、屋久島・鹿児島を旅する物語。主演は、本作が映画初出演& 初主演となり、第100期朝ドラ「なつぞら」で広瀬すず演じるなつの幼馴染・ · 夕見子役で好演をした**福地桃子**。本作は、**第31回東京国際映画祭「特別招待作** 品 | として選定され、ロサンゼルスJFFLAにて「最優秀脚本賞」を受賞、2021年 1月にはベトナムの日本映画祭に「万引き家族」と並んで日本代表として選出 される。





主題歌

樋口了一



1964年2月2日生まれ。シンガーソングライター。熊本県出身。'93年「い までも」で、東芝EMIからデビュー。'**03年3月"水曜どうでしょう"のエン** ディングテーマ「1/6の夢旅人2002」をCDリリース。インディーズながら 15万枚を売り上げる。その後、テイチクエンタテインメントより、'08年 10月「手紙」〜親愛なる子供たちへ〜を、'10年2月 アルバム「よろこびの うた」リリース。'09年2月「手紙」を届ける、ポストマンライブスタート。 「手紙〜親愛なる子供たちへ〜」で日本レコード大賞優秀作品賞、日本 有線大賞有線音楽優秀賞を受賞。 12年2月シングル Tegami ~ Carta aos meus fihos amados~リリース。'12年11月にリード曲"のぞみ"を含むアル バム「了~はじまりの風~」リリース。CD「手紙~親愛なる子供たちへ ~」は16万枚を超えるヒットとなる。 NHKでは2014年10月に作曲で「山 鹿のピアノ」がみんなのうたでOn Airされた。 熊本地震に被災後、支援ソ ング「**小さき花の歌**」配信開始。 アーティスト活動のかたわら、SMAP や郷ひろみさん、石川さゆりさん中島美嘉さんなどに楽曲を提供。ちょ うど、代表曲「手紙」が大きな反響を呼んだ時期と重なるようにギター が弾きにくくなったり、声が思う様に出せなくなったり、と体に異変を 感じ、整体、鍼、整形外科、かみ合わせ、神経内科等々14カ所もの病院 へ行っても原因がわからないという経験をする。その後**パーキンソン病** と判明。現在は病気と向き合いながら活動を続けている。 先の熊本地震 の復興ソング、「小さき花の歌」をテイチクエンタテインメントより、 配信でリリース。2020年11月キャリアオーナーシップ推進機構CM曲 「リターンマッチトオンエアー。

プロデューサー/ダンス監修



プロデューサー/野村 展代

短大を卒業後、生命保険会社勤務を経て演劇と映像の現場でアルバイトの後、映像制作会社に入社。TVドラマ、CM、プロモーションビデオなどの制作に関わる。映画『群青色の、とおり道』(2015年、佐々部清監督)、『八重子のハミング』(2016年、佐々部清監督)を製作。東日本大震災復興応援で福島県いわき市、岩手県陸前高田市、宮城県石巻市に通っており、2021年10月には、自身が監督を務めたドキュメンタリー映画「歩きはじめる言葉たち漂流ポスト3・11をたずねて」が公開される。



パーキンソン病ダンス監修/マニシア

ワレワレワークス代表/ダンスアーティスト・ダンスムーヴメントセラピスト・ダンサー。 長期におけるNYを拠点とした活動後、福岡で**多国籍、多世代の100名を超える参加者とアジアの路上生活の子どもたちへの救済チャリティー公演**を13年開催。その後障がいのある人々とプロダンサーたちとのダンスグループ、ワレワレワークスを結成。**難病の子どもたち、パーキンソン病の方、DV被害者、不登校性、少年院のティーン**を対象としたWSや作品のクリエーションに挑戦しながら、あらゆる場所にダンスの種を撒き続けている。



映画公開までのスケジュール



期間	内容	
2020年1月~	プロジェクト準備	
2020年7月~	ドラマ編脚本製作	
2020年9月~	タイトル公開・facebookページ開設・取材開始	
2021年1月上旬	クラウドファンディング(目標300万円-> 685万円にて達成)	
2021年1月下旬~	ドキュメンタリー編撮影	
2021年4月~	資金調達・キャスティング・スタッフィング	
2022年6月(予定)	ドラマ編撮影	
2022年夏~10月	編集・MA・仕上げ	
2022年11月	初号・試写会	
2022年12月以降	映画祭エントリー	
2023年春(予定)	劇場公開	
2023年下半期	自主上映会・研修内上映会	

クラウドファンディング達成



2021年3月/クラファン目標額の228%で見事に達成!

【古新舜監督最新作!】映画『いまダンスをするのは誰だ?』を製作したい!

♣ pJpp **▶** 映像・映画

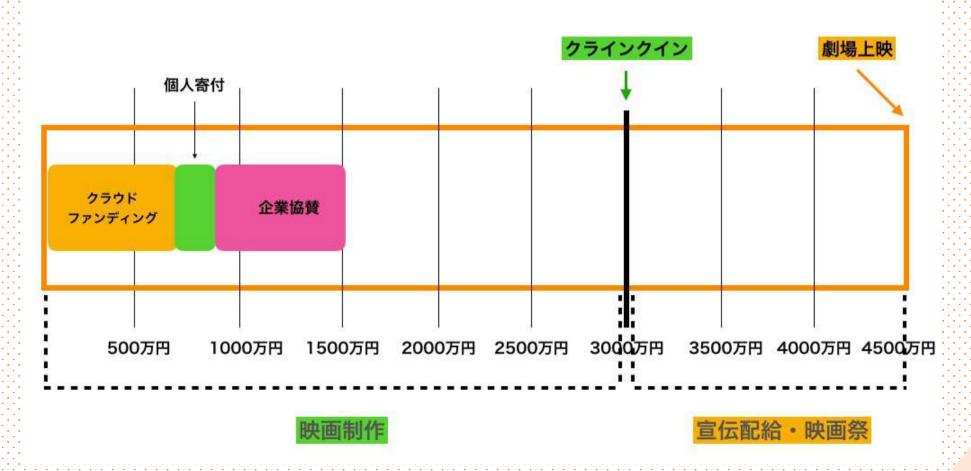


現在の資金調達の状況



目標額4,500万円に向けて現在、1,500万円調達! 作品完成直前の2022年末までご支援を募っています。

2022年1月現在 映画いまダンスをするのは誰だ?資金調達の現状



PD就労促進プロジェクト実行委員会とは



PD就労促進プロジェクト実行委員会(PJPP)は古新舜監督とコスモボックスとともにこの映画製作の企画段階から関わっております。PJPPは、パーキンソン病のための運動継続プログラム(PD Café)で知り合った、PD当事者4名、理学療法士1名で構成されております。ビジョンは、"誰もが働きやすい社会を作る"であり、この目標を実現するためにこの映画制作に主体的に関わっております。多くの方々に観ていただきパーキンソン病だけでなく難病への理解を深めていただきたいと考えております。



PD当事者 松野幹孝 元金融マン



PD当事者 芦名洋二郎 人材育成 プロフェッショナル



PD当事者 杉本勉 転職カウンセラー



若年性PD当事者古本幸アートマネージャー



理学療法士 小川順也 PD Cafe代表

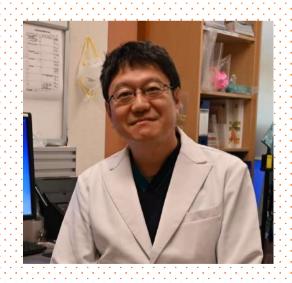
映画賛同者からの応援メッセージ





順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科 教授服部 信孝

一人で悩まない、いつも前を向いて元気に過ごしましょう。 患者さんもその家族も、そして医療人も同じプラット フォームで助け合い、励まし合い、そして手を携えて力強 く前進しましょう。



ひとりひとりがそれぞれの夢を持ち、未来にむかって自分のやり方で進んでいく、障害や病気があっても自分の人生をポジティブに歩んでいく、そのようなコンセプトの映画に大変期待しています。パーキンソン病と働き方と家族とダンス! すべての人をインクルージョンした社会の実現がみえてくるようです。

映画賛同者からの応援メッセージ





オリィ研究所 所長 デジタルハリウッド大学大学院特任教授 吉藤オリィ

身体を失った青年が心を無くした少女と旅をする映画「あまのがわ」では、人の間の葛藤や苦悩、その先にある希望やすぐ未来の可能性を描かれました。 古新監督の新たな挑戦により、また多くの方々の視野、世界が広がる未来を期待しております。



株式会社 ウチダシステズ 代表取締役社長 岩田 正晴

障害や病気に対する教育が裾野広く促進され、正しい理解のもと障害者と健常者が相互尊重し合えること。 分け隔てない対話があふれ、豊かで優しい社会環境を築いていけること。

映画の持つ魅力と発信力により社会の行動がより良く変化 していくことを心より期待しております。

映画主要協力/協賛企業団体様







美浜神経内科





Advancing science for life™





Medtronic



株式会社 PARKINSON Laboratories



★ 陰陽五行論塾

- ◆ Smile Space PD CAFÉ
- ◆全国パーキンソン病友の会
- ◆その他パーキンソン病や指定難病、理学療法、作業療法等に関する協会 との連携を図ります。

研修における映画の活用

映画を通じて社会の課題を抽出し、解決に向けたアクションを喚起する

映画は観客一人ひとりが異なる感想を持ち、個人の人間性や多様性を尊重する対話ツールです。物語に共感をしたり、他者の意見に耳を傾け他者理解を行うことで、身近な課題を自分ごととして捉え、主体的に物事を考察していく力が身に付きます。本映画においても、上映会と講演会・ワークショップ・研修とを有機的に絡めていくことで、参加者が一人ひとり社会に参画をするプレイヤーであることを再認識し、具体的な行動を起こしていく動機づけが生まれます。

職種の垣根を越えた社会人同士の交流、世代を越えた異世代交流を通じて、これからの時代を切り拓いていく効力感や視座を高めていきます。





さいごに



ポストコロナ時代だからこそ、この映画を社会に届けたい!

少子高齢社会を迎え、これから介護や福祉医療分野での課題は益々増えていくことと思います。社会の様式や価値観が様変わりする現代において、私たちは一人ひとりが自分たちの人生における大切な価値観やあり方を見つめ直し、世代や職種を越えて、皆でお互いを助け合っていく協働関係の意識が求められていると考えます。パーキンソン病以外にも様々な病気と向き合って生きている方々が、自分一人の苦しみとして孤立されることなく、社会全体として各々の悩みや苦しみを分かち合い、生きることを未来志向で捉えていける勇気と希望を届けていきたい。自己を受容し、失敗を恐れず変容することで、社会が寛容さで満たされていく。そんな社会の実現に向けて、全身全霊で本作を仲間と共に産み出していきます。









協賛金プログラム

映画協賛プログラム



ご協賛金額によって特典が異なります。

	プラチナ (500万円)	ゴールド (300万円)	シルーバー (100万円)	ブロンズ (50万円)
1.バックボード	O	-	_	_
2.プロダクトプレイスメント	O		_	_
3.パンフレット	1 P	1/2P	1/4P	1/8P
4.ポスター/チラシ	ロゴ (大)	社名(中)	社名(小)	_
5.エンドロール 6.オフィシャルサイト	ロゴ(大)	ロゴ(中)	ロゴ(小)	社名
7.関係者先行試写会 (指定の複数の日から選択 いただきます)	10名様まで	5名様まで	2名様まで	1名様
8.関係者打ち上げ	10名様まで	5名様まで	2名様まで	1名様

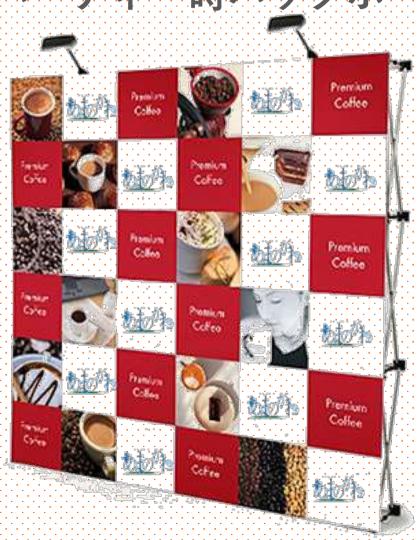
[※]金額は全て税別となっております。※上記以外の金額をご希望の方は、個別でご連絡ください。

1.スポンサー特典:バックボード



プラチナスポンサー限定!

記者発表/記念パーティー時バックボードに掲載



2.スポンサー特典:プラチナ特典



劇中に貴社関連商品を自然な形でPRできます。

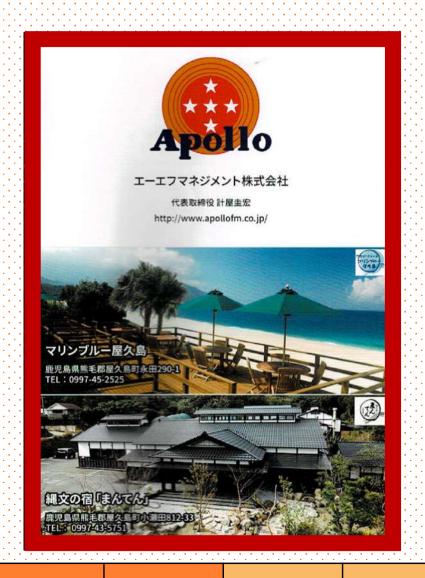


映画のストーリーや世界観にマッチするよう、制作者との協議が必要となります。

3.スポンサー特典:パンフレット掲載(カラー)



劇場·自主上映会10,000部印刷予定





プラチナ

1P

ゴールド

1/2P

シルバー

1/4P

ブロンズ

1/8P

4.スポンサー特典





劇場·自主上映会100,000部印刷予定



プラチナ	ロゴ(大)
ゴールド	社名(中)
シルバー	社名(小)
ブロンズ	_

協力・後援団体を通じて、関係各所に配布予定

5.スポンサー特典:エンドクレジット掲載



2023年春劇場公開予定:3万人動員目標



プラチナ	ロゴ(大)
ゴールド	ロゴ (中)
シルバー	ロゴ (小)
ブロンズ	社名(文字)

6.スポンサー特典:WEB協賛掲載



製作準備~劇場公開時までにのべ10万PVを想定しています。















プラチナ	ロゴ(大)
ゴールド	ロゴ (中)
シルバー	ロゴ (小)
ブロンズ	社名(文字)

映画特設サイト(HP:作成中)において掲載。 プラチナ・ゴールド・シルバーに限り、貴社の関連部署へのリンクが可能。

7/8.関係者先行試写会/関係者打ち上げ



劇場公開に先駆けて、関係者のみの限定試写会にご招待させていただきます。また関係者限定の打ち上げにご招待させていただきます。





プラチナ

10名様まで

ゴールド

5名様まで

シルバー

2名様まで

ブロンズ

1名様

冠スポンサー



映画の本編の冒頭に貴社クレジット掲載他、製作者と協議の上、 貴社ご希望に添ったPRをさせていただきます。

<u> </u>	
	冠スポンサー (1000万円)
1.バックボード	〇(2倍)
2.プロダクトプレイスメント	O
3.パンフレット	1P冒頭
4.ポスター/チラシ	ロゴ(特大)
5.エンドロール 6.オフィシャルサイト	ロゴ(特大)
7.関係者先行試写会 (指定の複数の日から選 択いただきます)	20名様まで
8.関係者打ち上げ	20名様まで
9.映画出演権	セリフ付き1名



古新舜監督最新作「あまのがわ」実績



★主演の福地桃子は本作が映画初出演。 その直後に、NHK「なつぞら」でブレイク!

- ・「あまのがわ」動員数(映画祭の上映を含む):約1万人
- 「あまのがわ」FBサイトいいね数:2,177(2020.9.23現在)
- ・ANA国際線機内上映日数:2019年7月~8月 (2ヶ月間)
- •第31回東京国際映画祭「特別招待作品」
- ・ロサンゼルスJFFLA「最優秀脚本賞」始め海外6映画祭ノミネート

★劇中に登場した分身ロボットOriHime 障がい者就労支援で現代大活躍中!







チケット購入プログラム



<u>映画チケット1,000枚:150万円</u> <u>映画チケット2,000枚:300万円</u>

※上記以外の枚数・金額をご希望の方は、個別でご連絡くださいませ。

※こちらのプログラムは、P19の映画協賛プログラムとは別になります。エンドクレジットに企業名・ロゴは掲載ございません。映画協賛プログラムとの併用は可能ですので、企業名・ロゴ掲載をご希望の方は、併せてご検討いただけたらと存じます。

